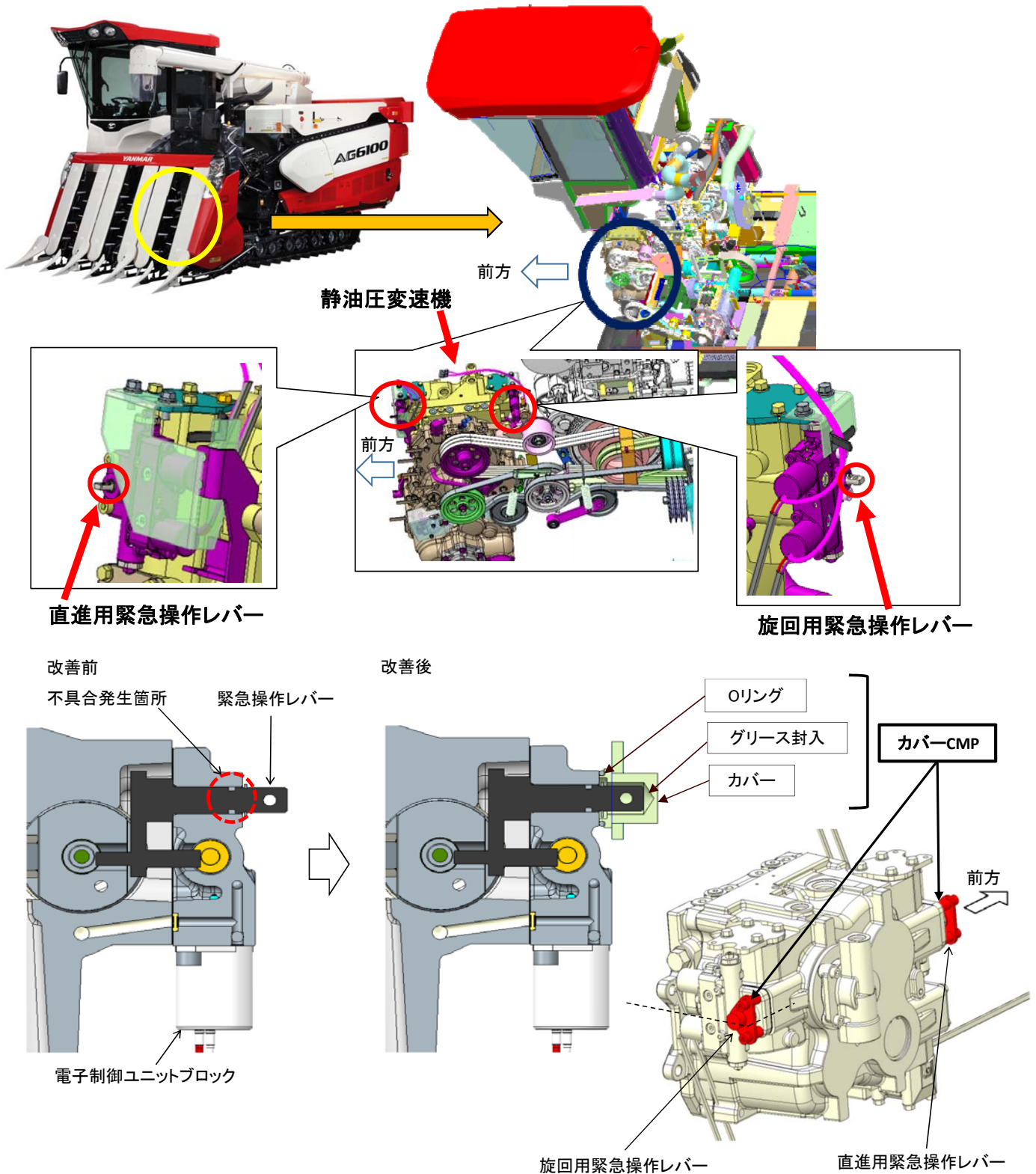


# 改善箇所説明図①



## 不具合発生箇所

刈取脱穀作業車の静油圧変速機において、旋回用及び直進用の緊急操作レバー部の構造が不適切なため、雨水等が当該レバーの根元部に浸入し、当該箇所に錆が発生することがある。そのため、そのままの状態で使用が続けると、旋回用及び直進用の緊急操作レバーが錆で固着し、静油圧変速機の操作ができず、最悪の場合、操舵不能や走行不能となるおそれがある。

## 改善内容

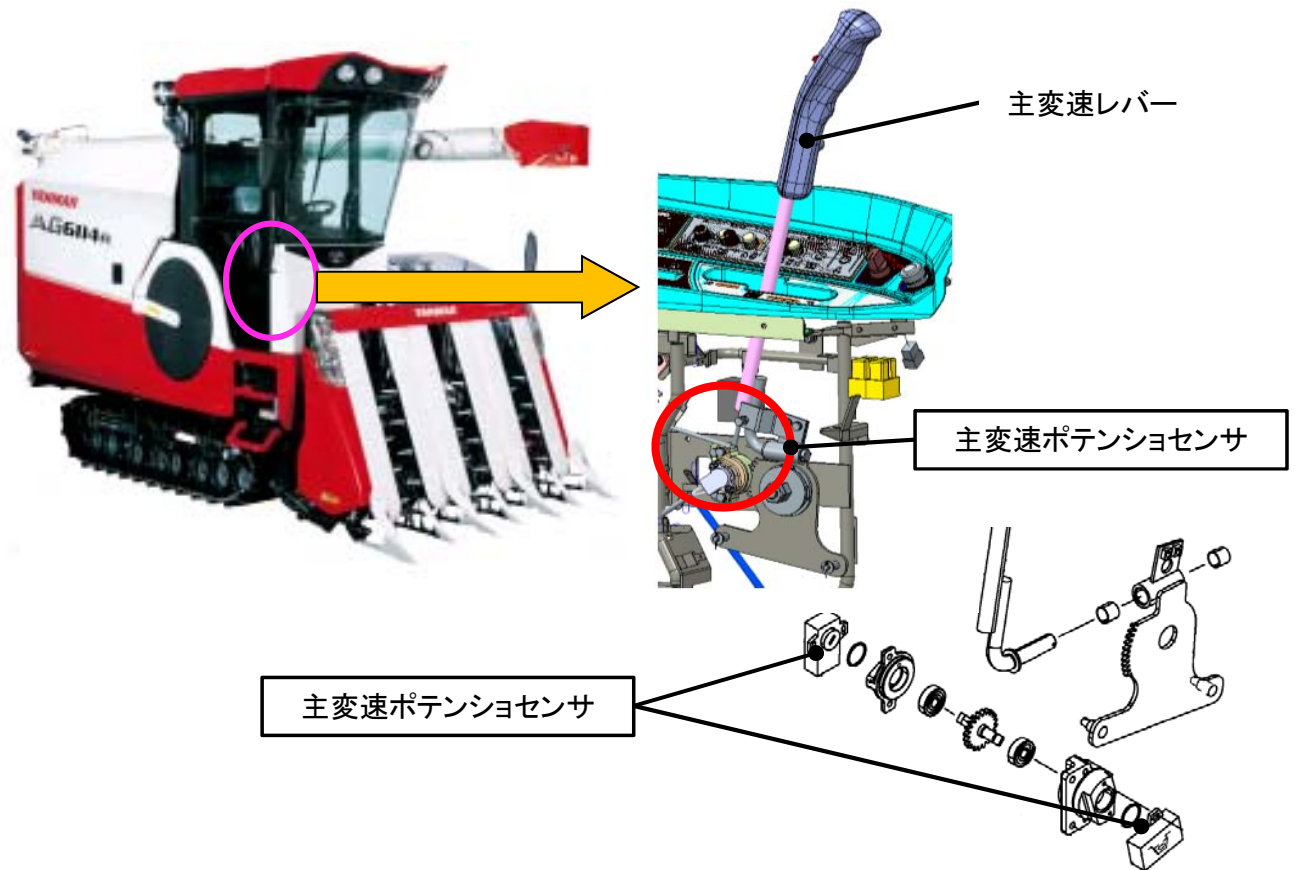
全車両、旋回用及び直進用緊急操作レバー部に対策品のカバーを取付け、カバー内にグリスを封入する。

□ は追加部品を示す。

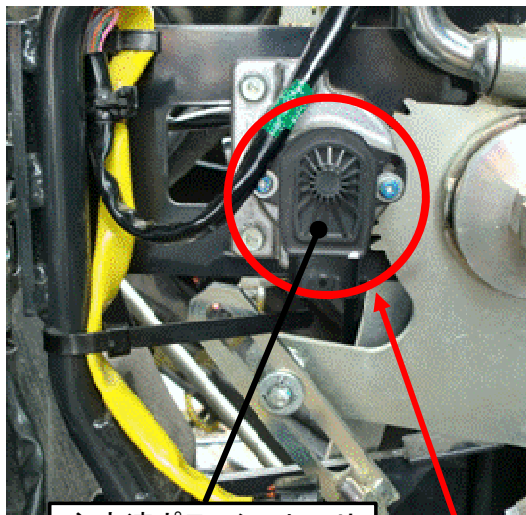
## 識別

追加したカバーで識別が可能である。

## 改善箇所説明図②



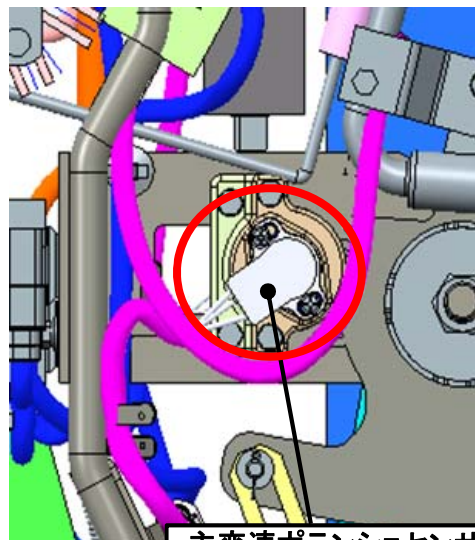
改善前



主変速ポテンシオセンサ  
(接触式)

不具合発生箇所

改善後



主変速ポテンシオセンサ  
(非接触式)

### 不具合発生箇所

刈取脱穀作業車の主変速レバーにおいて、レバー位置の検出を行うポテンシオセンサの設計が不適切なため、長時間の使用によりセンサ内部の接点摺動部が磨耗し、磨耗粉が接点摺動部に付着することがある。そのため、適切な信号が当該センサから出力されず、フェイルセーフがかかり走行できなくなるおそれがある。

### 改善内容

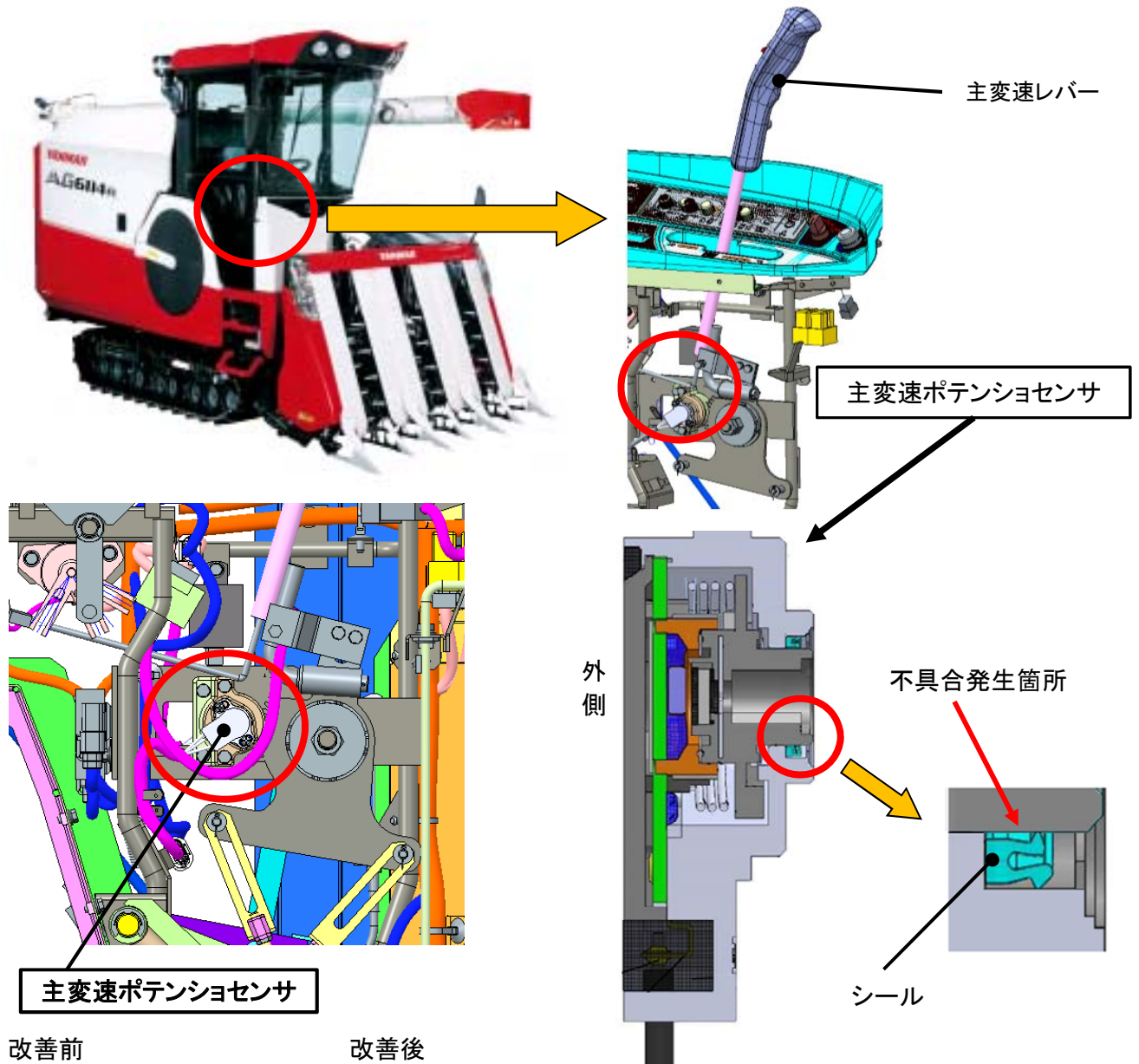
全車両、主変速レバー部のポテンシオセンサを対策品に交換する。

は交換部品を示す。

### 識別

交換したポテンシオセンサにて識別する。

### 改善箇所説明図③



改善前

改善後



良品は  
回動部に白いグリスが  
必要箇所に充填されている。

#### 不具合発生箇所

刈取脱穀作業車の主変速レバーにおいて、レバー位置の検出を行うポテンシオセンサの製造が不適切なため、センサ内部の回動部のグリス量が不足しているものがある。そのため、回動部のシール材が磨耗し、磨耗粉が回動部に噛み込み、適切な信号が当該センサから出力されず、フェイルセーフがかかり走行できなくなるおそれがある。

#### 改善内容

全車両、主変速レバー部のポテンシオセンサを良品に交換する。

は交換部品を示す。

#### 識別

型式銘板の横に白色のシールを貼付する。